

日高孝次 ひたか 海洋學者、理學博士。明治二十六年十一月四日宮崎縣生れ、昭和五十九年八月十五日歿（九三二一益）。大正十五年東京帝國大學理學部物理學科卒。中央氣象臺に入り、翌年神戸海洋氣象臺へ轉じた。昭和九年海流理論の研究により帝國學士院東京宮成婚記念賞受賞。十七年東京帝大教授、二十七年東大海洋研究所初代所長。日本海洋學會會長。

著譯書小 『數値積分法』全二冊（上巻・昭和十一年七月十五日、下巻十八年一月）二十日岩波書店）、『海流の語』（昭和十六年十一月十五日岩波書店）『少國民のためへ』）、『コーニツシエ著『海の波』』（譯、昭和十九年二月十五日小山書店）、『數値積分と數値計算』（昭和二十四年八月）二十日岩波書店）、『レーチエル・L・カーソン著『海』その科學とロマンズ』（譯、昭和二十七年七月）二十五日文藝春秋新社）、『海流』（昭和三十年十月）二十日岩波書店）『岩波全書』）、『エチケットー淑女の資格・紳士の条件』（日高麗子共著、昭和二十二年九月）二十日光文社）『カッパ・ブックス』）、『馬鹿と利巧』（合著、昭和二十四年七月一日明文書房）、『悪魔の研究』（合著・悪魔研究会編、昭和二十四年九月）二十日六興出版部）、『海洋学との四十年』（昭和四十二年八月）二十日日本放送出版協會）等。

